

青色光を抑制し、機能カラーで美容と健康に

RBR カラーレンズ

青色光とは

太陽やテレビ・パソコン・携帯電話の画面などからは「赤・黄・緑・青」など、様々な光が放射されています。その中でも波長の短い青色光（380nm～500nmの短波長光）は、他の色と比べて強いエネルギーを持つ性質があります。

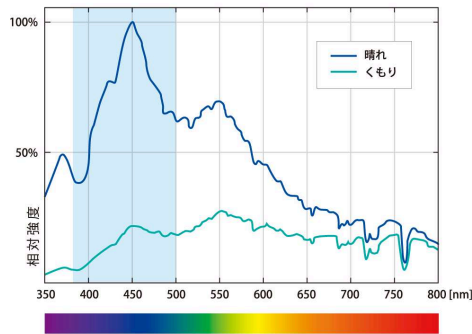
色が青く見えなくても、パソコンの白い画面からも比較的強い青色光がでていることが知られています。人の目は青色を感じにくいので、気付かぬうちに目に強い青色光を入れている可能性があります。

■ 青色光を目に入れると …

まぶしさを感じたり、メガネの度数は合っているのに看板がぼやけて見えたりします。エネルギーの強い光を目に入れることによる、眼球や体への影響も心配されます。

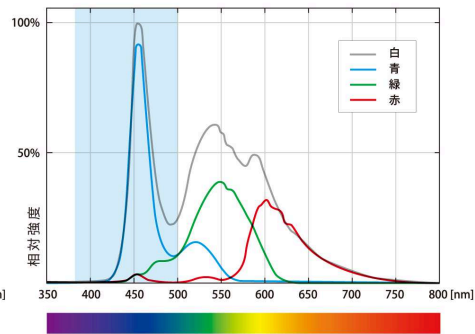
青色光とは「380nm～500nmの短波長光」であり、下の図の水色の領域です。

太陽光の分光スペクトル



晴れの日は曇りと比べて強い青色光が放射しています。照度は晴れの日ですら約10万ルクスで、オフィス環境の100倍にも達します。

液晶ディスプレイの分光スペクトル



白色に見えても青色光が多く含まれていることが分かります。（機種により違いがあります）

短波長カット RBRカラー の特長

■ まぶしさを軽減

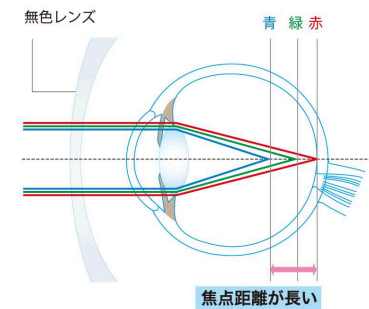
私達の目に入る光は水晶体（カメラでいうレンズ）で散乱します。この散乱光がまぶしさの原因となります。特に青色光は可視光の中でも強く散乱する性質を持つため、カットすることでまぶしさを軽減します。

■ クッキリとした視界を確保

私達の目に入る光は、目の中の網膜（カメラでいうフィルムや CCD）で結像しますが、その距離は光の波長によって少しずつ異なります。これを色収差といいます。

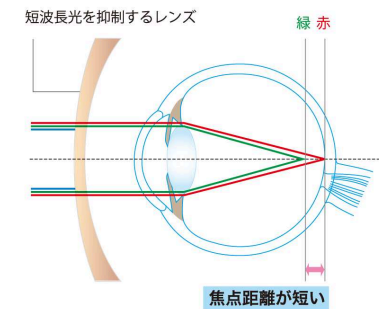
例えば赤色光が網膜上で焦点を結ぶとき、黄、緑、青と波長が短くなるほど、網膜の手前で焦点を結ぶこととなります。メガネの度数が合っているのに像がぼやけて見えるのはこれが原因の一つです。青色光をカットすることで色収差を軽減し、コントラストを高め、クッキリとした視界を確保します。

目の焦点と色収差 無色レンズの場合



青色光により、色収差が生じ「ぼやけ」の原因となります。（機種により違いがあります）

目の焦点と色収差 RBRカラーの場合



青色光をカットすると、色収差が縮み「ぼやけ」が軽減します。

対象商品 ※ご注文の際はレンズ種類・RBR・コート・カラー名を明記してください。例：ULTIMAXIVAS RBR VGC GRAY10%（略号UM4AS RBR VGC GRAY10）
●レンズ種類 単焦点 ne1.67非球面 ULTIMAXIVAS / ne1.60非球面 ULTIMAXIIIAS / ne1.60球面 ULTIMAXIII / カーブレズ ne1.60 FC-60 カブ 8 / ne1.60 FC-60 カブ 6
累進屈折力 ne1.67 REFINAR67L(12mm) / ne1.67 REFINAR67H(8mm) / ne1.60 REFINAR60L(12mm) / ne1.60 REFINAR60H(8mm)
●コート VGC（耐熱・超硬質・静電気防止・超撥水コート） / UPC（超硬質・超撥水コート） / SHC（超撥水コート）

www.shouwa-opt.co.jp
Shouwa

昭和光学株式会社 TEL: (06) 6729-5881 FAX: (06)-6727-0333